

織物の産地として発展してきた桐生市には、ものづくりの伝統が息づいている。

繊維産業のみならず機械金属工業を中心とした製造業でも、類いなき技術を有し、優れた製品やユニークな独自商品を開発、生産している事業所が数多く存在する。

そこからつくり出されたものに注目し、「ものづくりのまち桐生」の魅力を再発見したい。

今月号からは、「Room of KIRYU. プロジェクト編」として、桐生のモノづくり技術とデザイン感性をマッチングさせて開発した製品の数々を連続して紹介していく。

「Room of KIRYU. プロジェクト」の詳しい内容は HP をご覧ください。 <http://roomofkiryu.com>

## ファーストフォトフレーム / FIRST Photo frame

UENDAI × 藍工房正田



### 生まれたその日から…大切な1枚を飾って「護る」

藍染色家が特別な方法で染めた木のパーツを使い、日本の様式に欠かせない建具の若手職人が手掛ける組子があしらわれた特別なフォトフレーム。

組立加工を行ったUENDAIは、建具職人である狩野典子氏が代表を務める木製品ブランド。伝統的な組子技術や木材の知識をもとに、木の温かみを最大限活かした木製デザイン雑貨や家具の制作活動を行っている。伝統技術を女性ならではの繊細な感性で再デザインさせることで、新たなニーズにマッチした商品開発を行なっている。

藍染加工を行った藍工房正田は、藍染め及び草木染め加工を行う染色工房。正田智恵氏は、藍本来の天然の力による染色にこだわる、数少ない藍染家である。藍染には、日本古来のブランド藍である「阿波藍」100%を使用し、化学薬品を使わず藍本来の自然の力による「発酵だて」で染め上げており、深みと「てり」のある発色となっている。

藍には防虫効果があり、大事な着物は昔、藍染めの風呂敷で包んでいた。組子の麻葉模様は「すくすく育つ」と言われ、赤ちゃんの産着にも用いられる縁起のいい文様である。

伝統の建具の組子細工と昔ながらの藍染めの技法が出合い誕生したフォトフレーム。大切なご家族の特別な写真を飾るために、またご出産祝いの贈り物としても最適な一品である。

製品仕様：L60mm×W250mm×H200mm 製品に関するお問合せ 桐生商工会議所 0277-45-1201

企業名 UENDAI

URL <http://uendai.exblog.jp>

×

企業名 藍工房正田

所在地 〒376-0002  
桐生市境野町1-1275-7

電話 0277-44-5797